

# 麻疹(はしか)に注意!



## 「麻疹」ってどんな病気?

空気中の麻疹ウイルスを吸いこむことによる感染(空気感染)や、せきなどのしぶきによる飛沫感染、接触感染でおこります。感染力が大変強い病気です。潜伏期間は10~14日で、発疹が出る4日~5日前くらいから、他の人にうつります。

はじめは、鼻水やせき、38℃位の発熱など風邪のような症状が出ます。目やにが出たり、目が赤くなることもあります。口の中のほほの内側の粘膜に白い斑点(コプリック斑)が出ます。3~5日後に赤い発疹がでます。耳の後ろ、首、顔から始まり、全身にひろがります。熱も高くなります。発熱は1週間くらい続きます。発疹は茶色くなってしばらくあとが残ります。

中耳炎、肺炎、脳炎などの合併症を起こし、重篤になる場合があります(患者100人中、中耳炎は7~9人、肺炎は1~6人に合併します。脳炎は約1,000人に2人の割合で発生がみられます。)

麻疹は、学校保健法上で出席停止の対象となっています(解熱後3日を経過するまで)。

## 家庭での注意点!!

・麻疹の定期接種対象者で、まだ予防接種を受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。その他の方は、任意接種として接種を受けられます(自費)。かかりつけ医に相談しましょう。

・麻疹の発病初期には発疹がなく、麻疹と診断がつきにくいいため、周囲での流行が疑われる場合、発熱やせきがみられた方については、登園・登校・勤務等を控え、すみやかに受診することが大切です。受診の際には、症状や周囲で麻疹が流行していることなどを事前に電話で医療機関に伝えましょう。

・麻疹と診断された場合は、学校や幼稚園・保育園等に連絡しましょう。登校・登園は医師の許可があるまで控え、できるだけ医療機関への通院以外は外出しないようにしましょう。

## 予防方法

・麻疹を予防するためには、予防接種が重要です。

【定期接種】原則として、麻疹風しん混合ワクチンを2回接種します。

第1期: 1歳~2歳未満 第2期: 小学校入学1年前の4月1日~入学する年の3月31日

第3期: 中学1年生に相当する年齢 第4期: 高校3年生に相当する年齢

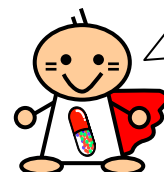
※第3・4期は平成20年4月から5年間のみ実施。したがって、第1・2期で接種された方の第3・4期接種及び第3期で接種された方の第4期接種はありません。

・麻疹患者と接触してすぐの場合、麻疹ワクチンの接種やガンマグロブリンの注射を受けることで発病の予防や症状を軽減することが出来る場合があります。かかりつけ医とよく相談しましょう。

\* 予防接種についてのお問い合わせ先

相模原市保健所 疾病対策課予防接種班 直通 042-769-8346

<問い合わせ先> 相模原市保健所 疾病対策課 感染症・難病対策班  
TEL 042-769-8260 FAX 042-750-3066



定期接種対象者は流行する前に早めに予防接種を受けましょう!